

知事のインドネシア・香港訪問

仁坂知事は、4月16日（土）から4月22日（金）の日程で、インドネシア（ジャカルタ、アチェ州）及び香港を訪問した。

《インドネシア》

- インドネシアでは、経済交流の拡大及び誘客を図るため、ジャカルタにおいてプロモーション行事及びセミナーを開催するとともに、インドネシア商業省との間で経済交流促進を目的とした共同声明を発表した。
- 本県と津波対策の分野で交流のあるアチェ州を訪問し、同州の津波博物館において和歌山コーナー開設式典を開催した。また、「世界津波の日」制定を契機とする津波防災に係る知事による基調講演をアチェ津波博物館及びビヌス大学（ジャカルタ）で実施した。

《香港》

- 香港では、訪日団体旅行の取扱が第1位であり、和歌山県観光大使にも就任頂いているEGLツアーズの袁社長との懇談を行うとともに、同社創立30周年祝賀会へ出席し、更なる誘客を図るため関係者へのPR活動を行った。
- 経済交流の活性化を念頭においた覚書を締結している香港貿易発展局のマーガレット・フォン総裁との会談を行うとともに、県内事業者が出展中の香港ハウスウェア・フェアの視察を行った。また、外食関係企業・団体を訪問し、県産品の販路拡大について協力依頼を行った。

記

- 1 訪問期間： 平成28年4月16日（土）から平成28年4月22日（金）まで
- 2 訪問者： 仁坂知事、県内事業者、他
- 3 知事日程：

4月16日（土）	午前	関西空港発 香港経由、ジャカルタ空港着
4月17日（日）	午前	ジャカルタ空港発、アチェ空港着 シロン墓地視察 津波博物館視察・和歌山コーナー開設式・「世界津波の日」知事講演会 アチェ州知事との会談 アチェ空港発、ジャカルタ空港着
4月18日（月）	午前	インドネシア商工会議所訪問
	午後	ビヌス大学訪問・「世界津波の日」知事講演会 現地旅行社訪問 在インドネシア日本国大使との懇談

- 4月19日(火) 午前 和歌山プロモーション
午後 和歌山観光・経済セミナー
インドネシア商業省訪問・共同声明
尼日友好協会との懇談
- 4月20日(水) 午前 ジャカルタ空港発、香港空港着
午後 味珍味有限公司会長訪問
EGLツアーズ創立30周年記念パーティー
- 4月21日(木) 午前 香港ハウスウェア・フェア視察
在香港日本国総領事との懇談
午後 和の味飲食集団社長訪問
香港飲食店関連産業協会会長訪問
ELGツアーズ本社訪問
香港空港管理局CEO(香港貿易発展局前総裁)との懇談
- 4月22日(金) 午前 香港ジオパーク視察
午後 香港貿易発展局総裁との会談
香港空港発、関西空港着

〈お問い合わせ〉

企画部企画政策局 国際課
担当：小池・山下(インドネシア)
・山田(香港)
電話：073-441-2061

(1) インドネシア

和歌山県とインドネシア商業省との共同声明

日時：4月19日（火）13：45～15：15

場所：インドネシア商業省

仁坂知事は、世界第4位の人口（約2億4千万人）を背景とする消費市場の潜在力があり、本県はじめ日本企業の関心が急速に高まっているインドネシアと和歌山県の経済交流をさらに発展させるため、インドネシア商業省を訪問し、ヌス・ヌズリア・イシャック輸出開発局長との間で谷崎駐インドネシア大使立ち会いの下、輸出振興分野での情報交換、輸出機会促進のためのセミナー及び展示会の共催、それぞれの国で開催される国際見本市・展示会への企業の参加、ビジネスマッチングプログラムの支援、人材交流による知識と技術の交流などに関する共同声明を発表した。



この共同声明に基づき、今後、両者間における経済ミッション団の派遣・受入や、両国における展示会及びセミナーの開催により、インドネシアと和歌山県の経済交流を拡大することで、ヌス輸出開発局長と合意した。

和歌山プロモーション・企業セミナー及び観光セミナーの開催

日時：4月19日（火）11：30～15：30

場所：マンダリンオリエンタルホテル

仁坂知事は、「世界津波の日」制定を記念し、津波防災に係る濱口梧陵の精神の伝承や和歌山県が誇る豊かな観光資源や自然の恵みを受けた和歌山の「食」等の魅力を伝えるべく、トッププロモーションを実施した。同プロモーションには旅行業関係者、現地企業、メディアなど、200名を超える参加者があり、大変盛況であった。メディア17社から約1時間に渡り取材を受けるなど、本県に対する関心の高さが伺えた。

和歌山プロモーションに引き続き、現地企業向けのビジネスセミナー及び現地旅行会社向けの観光セミナーを実施した。観光セミナーでは、県内の観光資源を活用した具体的な旅程についてプレゼンテーションを行い、続いて県内観光事業者の個別ブースに分かれて商談会を実施し、積極的なプロモーションを行った。現地旅行会社・メディア55社75名が参加し、和歌山を組み込んだ具体的な旅程や県内の観光施設・宿泊施設の詳細について多くの質問が寄せられるなど、旅行先としての和歌山について高い関心が示された。

ビジネスセミナーでは、現地企業関係者約70名を対象とした「和歌山経済セミナー」及び本県参加企業によるプレゼンテーションを実施した。その後、本県参加企業と現地企業との間で商談会が開催され、具体的な商取引に発展する案件が数社において確認された。また、本県参加企業は投資調整庁を訪問しアズハル副長官からインドネシアとの貿易や拠点設置を計画する参加企業に対し、具体的な手続きなどの説明を受けた。



<和歌山プロモーション>



<現地メディア取材>



<観光セミナー>



<ビジネスセミナー>

アチェ州訪問

日時及び場所：4月17日（日） 9：45～10：00 （シロン墓地）
 10：45～13：00 （アチェ津波博物館）
 13：15～14：15 （アシェ州知事公邸）

仁坂知事は、本県と津波対策の分野で交流のあるアチェ州を訪問した。同州では、まず、2004年のスマトラ島沖大地震による津波で犠牲になった方々に追悼の意を表するため、犠牲者22万人のうち4万6718人の遺体が埋葬されているシロン墓地を訪問し、献花を行った。

その後、仁坂知事は、本年1月、「稲村の火の館」（和歌山県広川町）と交流協定を締結した「アチェ津波博物館」（アチェ州バンダ・アチェ）を訪問し、この交流協定に基づき同館に開設されることとなった「和歌山コーナー」の設置式典に出席した。設置式典では、関係者によるテープカットの後、仁坂知事とレザ・ファレフィ・アチェ州観光文化局長との間で同コーナー開設書に署名が行われた。署名に引き続き、開設式典に参加した州政府関係者及び地元住民に対し、「世界津波の日」制定を契機とする津波防災に係る基調講演を実施した。講演終了後、仁坂知事は、ザイニ・アチェ州知事公邸を訪問し、両県州の情報の相互提供の一環として、アチェ津波博物館内の和歌山コーナー開設に対し謝辞を述べるとともに、今後も両県州、両館が活発に情報交流することで合意した。



<シロン墓地献花>



<和歌山コーナー開設式典>



<基調講演>



<アチェ州知事表敬訪問>

ビヌス大学訪問

日時：4月18日（月）11：30～14：30

場所：ビヌス大学講堂

仁坂知事は、ジャカルタに本部を置く名門私立大学であるビヌス大学を訪問し、同大学関係者及び学生約500名を対象に「世界津波の日」制定を契機とする津波防災に係る講演会を実施した。講演会終了後に行われた質疑応答では、和歌山県における津波防災対策について、日本語学科の学生が活発に日本語にて質問を行うなど、スマトラ島沖大地震で甚大な津波被害を受けたインドネシアにおける津波防災に対する関心の高さが伺えた。



(2) 香港

ELGツアーズ創立30周年記念パーティー及び袁文英社長との懇談

日時：4月20日（水）17：00～22：00（創立30周年記念パーティー）

場所：香港コンベンション&エキシビジョンセンター Grand Hall

仁坂知事は、香港における訪日団体旅行の取り扱いが最大の旅行会社であり、和歌山県へも最も多くの団体旅行客を送客頂いているELGツアーズの創立30周年記念パーティーに、香港でも大人気のゆるキャラ「きいちゃん」「たま駅長代理」及び県内観光事業者6社とともに出席した。

式典には日本全国をはじめ各国から2000人以上の自治体・観光事業者などが出席した。冒頭、九州における一連の地震による被害者に対する黙祷があり、松田邦紀在香港日本国総領事の挨拶に続き、仁坂知事が日本からの自治体・観光事業者を代表して祝辞を述べた。仁坂知事が真田赤備えの甲冑を着用して登壇すると会場は多いに盛り上がった。仁坂知事から袁文英社長に対し、日頃より日本及び和歌山県へ多くの旅行客を送客頂いていることに対する御礼を述べるとともに、更なる観光客の送客を依頼し、紀州漆器の特製感謝状と記念品を贈呈した。

また、翌21日、ELGツアーズ本社を訪問し、訪日旅行をめぐる現況について袁文英社長と意見交換を行った。仁坂知事は、和歌山県の新たな観光資源について紹介を行うとともに、南紀白浜空港の国際ターミナル化を念頭に置きチャーター機を利用した旅行商品造成に向けた検討を要請するなど、香港から和歌山県への更なる誘客について協力を依頼した。

訪日旅行業界のリーディングランナーであるELGツアーズとの関係をより一層強化できたことは、本県への外国人宿泊者数の国・地域別シェア第2位でありインバウンドの取組みにおいて最も重要な地域である香港からの本県への更なる観光客誘致につながるものとする。

香港ハウスウェア・フェア視察及び香港貿易発展局総裁との懇談

日時：4月21日（木）10：00～11：00（ハウスウェア・フェア視察）

場所：香港コンベンション&エキシビジョンセンター 展示場1・3

仁坂知事は、香港貿易発展局のソフィア・チョン副総裁の案内で香港ハウスウェア・フェアを視察した。同フェアはアジア最大の家庭用品展で、本県からは家庭用品及び漆器の企業5社（県ブース集団出展4社、個別出展1社）が出展した。会場では、各出展企業の展示及び商談の様子を視察したのち、当フェアの広報誌である「Fair Daily」のインタビューに答え、県内産業のPRを行った。

また、仁坂知事は、翌22日、同フェア主催者であり、平成25年7月に経済交流の活性化を目的とする「相互協力に関する合意書（MOU）」を締結している香港貿易発展局のマーガレット・フォン総裁と懇談を行い、双方の更なる経済活性化に向けた協力関係を深化させるため意見交換を行った。



外食関係企業・団体訪問

日時及び場所：4月20日（水）13：00～13：30（味珍味有限公司）

4月21日（木）14：00～14：30（和の味飲食集団）

4月22日（木）15：00～16：00（香港飲食店関連産業協会）

仁坂知事は、香港日本料理店協会の前会長で、食品輸入商社味珍味（香港）有限公司のフランキー・ウー会長を訪問し、和歌山県産品を取り扱って頂いている事に対してお礼を述べるとともに、更なる取り扱い拡大を依頼した。

また、香港の人気寿司チェーン「板前寿司」を経営する和の味飲食集団のリッキー・チェン社長を訪問し、和歌山県の水産物や、果実などの農産物また加工品を紹介し、香港内外で経営する約90店舗（板前寿司など）での県産品取扱について依頼し、「和歌山県産品に興味がある。是非、訪問したい」との回答を得た。

さらに香港の外食産業及び外食産業関連の企業が集まり組織された香港飲食関連産業協会のサイモン・ウオン会長を訪問し、協会会員と県内事業者との商談機会創出について協力を依頼するとともに、和歌山に関心のある会員の皆さんに、是非、和歌山に来て欲しい旨伝えた。サイモン会長とは、関係者の来県について、今後具体的な打合せを行うことで合意した。



(3) その他日程

①インドネシア

インドネシア商工会議所 (KADIN) 副会頭訪問

日時：4月18日(月) 10:00~10:40

日時：メドコ・エナジー・インターナショナル
(ザ・エネルギー・ビル)

仁坂知事は、ビジネスミッション参加企業と共にインドネシア商工会議所(KADIN)副会頭で元駐日インドネシア大使のムハンマド・ルトフィ氏を訪問し会談を行った。会談においては、インドネシア共和国と本県の経済交流のさらなる促進について意見交換を行うとともに、今後、本県企業とインドネシア企業とのビジネスの際には、インドネシア商工会議所の本県企業への支援について、ルトフィ副会頭から約束をいただいた。

パノラマツアーズ訪問

日時：4月18日(月) 15:20~17:00

場所：パノラマツアーズ本社

仁坂知事は、インドネシア最大の旅行会社であるパノラマツアーズ本社を訪問し、ハンダヤ社長をはじめとする同社幹部に対して和歌山の観光魅力についてプレゼンテーションするとともに、訪日旅行を巡る現況について意見交換を行った。ハンダヤ社長からは、東京から大阪に至るゴールデンルートに続く新しい旅行先として和歌山を歓迎する旨が表明された。今回の訪問を契機として、多くの訪日客が和歌山を訪問することになるよう、和歌山ツアー商品造成・PRへの協力を依頼した。

ASTINDO副会長との面談

日時：4月19日(火) 10:30~11:10

場所：マンダリンオリエンタルホテル

仁坂知事は、インドネシアからのアウトバンドを取り扱う旅行会社で構成されるASTINDO(インドネシア航空券販売代理店協会)のルディアナ副会長ほかボードメンバー3名と面談し、和歌山が誇る美しい自然、世界遺産、温泉、食などの観光魅力について紹介を行い、加盟旅行会社における商品造成・PRを働きかけた。ルディアナ副会長からは和歌山の可能性を高く評価する旨の発言があり、5月下旬を目途にファミトリップを実施することとなった。また、ASTINDOの年次総会を和歌山県で開催することについても前向きに検討を行うこととされた。

②香港

香港空港管理局CEO(香港貿易発展局前総裁)との懇談

日時：4月21日(木) 19:00~21:00

場所：アレキサンドリアハウス B1 Peking garden

仁坂知事は、フレッド・ラム香港空港管理局CEOと懇談し、平成26年4月に和歌山県と香港貿易発展局とが協力覚書を締結した当時の総裁であった同氏の貢献に対して感謝の意を伝えるとともに、本県の香港に関する取り組みや関西国際空港及び南紀白浜空港の活性化について意見交換を行った。

香港ジオパーク視察

日時：4月22日（金）9：00～11：00

場所：香港ジオパーク

仁坂知事は、南紀熊野ジオパークを有する和歌山県にとって先進地な取り組みを行っている香港ジオパークを香港政府漁農自然護理署のジオパーク事業責任者である楊家明博士の案内で視察した。同ジオパークは、約1億4千年前（白亜紀初期）の大規模な火山活動の痕跡が見られ、平成23年に世界ジオパークに認定されており、記念館・青少年教育施設・レジャー施設・遊歩道などの各種施設や認定ガイド制度が整備されており、宿泊施設・旅行業・飲食業など周辺都市と一体となった地域づくりを行っている。